

**セキュリティ・コンポーネント MistyGuard シリーズ製品機能強化**  
**～IoTの進展に対応したPKI証明書の自動発行や電子署名による文書の電子化を促進～**

三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社(本社：東京都港区、取締役社長：牧野 友明以下 MDIS)は、PDF や XML 形式の電子文書に電子署名を施し偽造や改ざんを検知できるようにする電子署名モジュールや、認証局から配布される電子証明書を発行する電子認証サーバシステムを擁する、セキュリティ・コンポーネント MistyGuard (ミスティーガード) シリーズの拡充・機能強化を図り、5月7日より発売いたします。

今回の発売により、IoT<sup>(注1)</sup>の進展に伴うセキュリティ対策としての認証基盤の構築や、原本性確保が必要な文書・帳票の電子化ニーズの多様化に応えます。

■発売の狙い

電子契約、電子交付、電子申請、国税関係書類の電子保存(電子帳簿保存法の保存要件)、先使用権立証のための証拠文書、等への電子署名や文書の存在証明となるタイムスタンプは、近年ますます重要性を増してきています。

組織間で文書交換する際のファイル形式として XML<sup>(注2)</sup>の普及が加速しており、金融業界では2020年までに送金指図電文をXMLに移行する計画が進められています<sup>(注3)</sup>。

産業界全般では、IoTの普及に伴い電子証明書の発行対象が「人」から「機器」に拡大したことから、そのセキュリティ対策として大量の電子証明書の需要が見込まれています。

一方、法的に原本の保存義務がある文書や帳票の電子化においては、技術進歩や標準化の進展、普及状況などを踏まえた見直しが行われています。

このうち長期保存が必要なものもある医療関係文書については、2016年の厚生労働省のガイドライン<sup>(注4)</sup>や、2017年の一般社団法人保健医療福祉情報システム工業会(JAHIS)のガイドライン<sup>(注5)</sup>では電子署名とタイムスタンプを付与することとされていますが、国税関係の文書や帳票については2015年の税制改正で、内部統制整備を前提に電子署名を不要とし、タイムスタンプが付与されていればよいとの要件緩和が行われました。

こうした動向を踏まえ、MDISはセキュリティ・コンポーネント製品機能を拡充・強化し、IoTの進展に対応したPKI技術により、医療や金融分野などの文書の電子化や活用のニーズに応じていきます。

■特長

**1. XML形式ファイルに対応したSignedXML Serverを新たに発売**

新製品 SignedXML (サインドエックスエムエル)により、XML文書への電子署名とタイムスタンプ付与を実現します。長期署名技術である XAdES<sup>(注6)</sup>にも対応しています。(関連特許出願中)

**2. PDF形式ファイルへの電子署名等を行うSignedPDF Serverの機能を強化**

PDFリファレンス2.0に従った電子署名を伴わないタイムスタンプの付与が可能となりました。また、フォルダへのドラッグ・アンド・ドロップによる電子署名機能や、タイムスタンプ付与を可能とするなど、ニーズの多様化に合わせ機能を強化しました。

**3. 電子証明書発行を行うCERTMANAGERにIoT時代に即したWebAPI機能を追加**

認証サーバシステム CERTMANAGER (サートマネージャー)に、インターネットを介して電子証明書発行処理が行える WebAPI 機能を追加しました。WebAPI でインターネット接続し、電子証明書のオンライン発行が可能になります。

■ 発売の概要

発売日はいずれも 5 月 7 日。販売目標は 2018 年度。

製品名	価格(税抜)	販売目標
電子署名サーバモジュール MistyGuard<SignedXML Server> V.1.00	年間利用料 1,632,000 円	20 システム
電子署名サーバモジュール MistyGuard<SignedPDF Server>PureJAVA 版 V.4.00	年間利用料 1,632,000 円	10 システム
電子認証サーバシステム MistyGuard<CERTMANAGER> V.9.00	初期導入費(定価) 5,380,000 円 ※500 証明書発行ライセンス付	10 システム

■ 注記

- (注 1) IoT : Internet of Things  
 (注 2) XML : Extensible Markup Language  
 (注 3) 日本経済再生本部 未来投資会議構造改革徹底推進会合  
 「第 4 次産業革命 (Society5.0) ・イノベーション」 会合 (第 4 次産業革命) (第 2 回)  
 配布資料「金融庁におけるフィンテックに関する取組み」(2016 年)  
 (注 4) 厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン第 4.3 版」(2016 年)  
 (注 5) 一般社団法人保健医療福祉情報システム工業会 (JAHIS)「電子処方せん実装ガイド  
 Ver.1.0」(2017 年)  
 (注 6) XAdES (シャデス) : XML Advanced Electronic Signatures

■ 報道関係からのお問い合わせ先

三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社 業務課 (広報担当)  
 〒108-0023 東京都港区芝浦 4-13-23 MS 芝浦ビル  
 Tel: 03-5445-7646  
 オフィシャルウェブサイト <http://www.mdis.co.jp/>

■ お客様からのお問い合わせ先

三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社 金融システム営業部  
 〒108-0023 東京都港区芝浦 4-13-23 MS 芝浦ビル  
 Tel: 03-5445-7319  
 製品紹介ページ <http://www.mdis.co.jp/products/signedpdf-family/>  
<http://www.mdis.co.jp/products/signedxml-series/>  
<http://www.mdis.co.jp/products/certmanager/>

各製品の動作条件など詳細は製品紹介ページを参照ください。

■ 商標関連

- SignedPDF、SignedXML は、三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社の登録商標、または商標登録出願中の商標です。
- MistyGuard、CERTMANAGER は、三菱電機株式会社の登録商標です。
- その他、会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

■機能概要

(1) 電子署名サーバモジュール MistyGuard<SignedXML Server> V.1.00 (新製品)

カテゴリ	機能	詳細
電子署名	クライアント側の証明書によるセキュアな電子署名	IC カードまたは Windows 証明書ストアを利用した証明書・秘密鍵を使用して署名を行う事で、成りすまし等を防止できます。
	サーバ側の証明書によるセキュアな電子署名	Java CertStore 内にある証明書・秘密鍵を使用して署名を行う事で、成りすまし等を防止できます。
	Java クラス API による電子署名	提供する Java クラス API を使用する事で XML の電子署名 (XAdES-BES 生成) ができます。
電子署名検証	Java クラス API による電子署名	提供する Java クラス API を使用する事で XML の電子署名検証ができます。
タイムスタンプ付与	タイムスタンプ付与機能	提供する Java クラス API を使用する事で XML のタイムスタンプ付与 (XAdES-T 生成) ができます。
長期署名	XAdES に準拠した長期署名	欧州電気通信標準化機構 (ETSI) の ETSI TS 101 903 V1.4.2 (2010-12) として公開されている、最新の長期署名の国際規格である XAdESV1.4.2 に準拠した長期署名 (XAdES-A 生成) が可能です。
失効確認	CRL および OCSP での証明書の失効確認に対応	証明書失効リスト (CRL) およびオンライン証明書状態プロトコル (OCSP) での証明書失効確認が可能です。また、CRL および OCSP に対応した XAdES を生成可能です。
	マイナンバーカードの失効情報の照会に対応	マイナンバーカード (公的個人認証サービス) の OCSP による電子証明書有効性照会に対応しています。
その他	JAHIS 電子処方せん実装ガイド Ver.1.0 に対応	JAHIS (保健医療福祉情報システム工業会) が 2017 年 5 月に公開した JAHIS 電子処方せん実装ガイド Ver.1.0 に記載されている電子署名に関する要求事項に準拠した電子署名、電子署名検証を行うことが可能です。

(2) 電子署名サーバモジュール MistyGuard<SignedPDF Server> PureJAVA 版 V.4.00

カテゴリ	機能	詳細	備考
電子署名	証明書の設定機能	電子署名時に使用する証明書を登録しておくことで、PDF に証明書データを自動的に組み込みます	
	署名時に使用する印影の設定機能	画像形式 (JPG,BMP,PNG) または ESD 形式の印影データを、署名時の印影として PDF へ埋め込むことができます	
	署名者情報の設定機能	署名者の氏名、署名地、理由などの情報を設定することができます	
電子署名検証	電子署名検証機能	SignedPDF 製品で署名された PDF の改ざん検証、証明書の検証を行うことができます	
	証明書失効リストを使用した証明書失効確認機能	証明書失効リスト (CRL、ARL) を使用して、証明書の失効確認を行うことができます	
タイムスタンプ付与	ES-T 形式のタイムスタンプ付与	ES 形式署名が行われた PDF に対して、タイムスタンプ発行局に接続を行い、タイムスタンプ付与を行います	
	ドキュメントタイムスタンプの付与	PDF2.0 (ISO 32000-2:2017) の仕様に従い、署名が付与されていない PDF に対しても単独でタイムスタンプ付与を行います	新機能
長期署名	PAdES 対応	PAdES (PDF Advanced Electronic Signatures) に準拠した長期署名が行えます	
失効情報ダウンロード	CRL/ARL をサーバに保管する機能	Web サーバ上に公開されている証明書失効リスト (CRL、ARL) をサーバのディスク上に保管する機能を提供します	
ログ設定	処理実行時ログ設定機能	処理実行時に出力するログの種類、出力方法を設定する機能を提供します	
その他	Proxy ユーザ認証への対応	タイムスタンプ取得時にユーザ認証を行う Proxy サーバに対応しました	新機能
	フォルダ監視機能 (オプション)	Windows サービス型のプログラムで、対象のフォルダに PDF が保管されると自動的に電子署名やタイムスタンプ付与を行います。	新機能

本製品は外国為替および外国貿易法で規制される貨物・技術に該当します。本製品を輸出 (日本国外への持ち出しおよび非居住者へ技術を提供する場合を含む) する場合は、同法にしたがい日本政府の輸出許可または役務取引許可が必要です。

(3) 電子認証サーバシステム MistyGuard<CERTMANAGER> V.9.00

カテゴリ	分類	備考
発行可能な証明書	クライアント証明書	
	サーバ証明書	
	下位認証局証明書(相互認証)	
	リンク証明書	
証明書用途	Web サイト認証	
	SSL-VPN 認証	
	IPSec 認証	
	無線 LAN 認証	
	スマートカードログオン	
	メール暗号化(S/MIME)	
	電子署名	
認証局管理	登録局(RA)と発行局(IA,CA)の分離	
	証明書配布(UA)	
	アカウント検索	
	証明書検索	
	認証デバイス管理	
	複数管理者	
	証明書発行承認	
	管理情報 CSV エクスポート	
	申請情報 CSV 一括インポート	
	外部 LDAP/AD 手動インポート	
	外部 LDAP/AD 認証連携	
	Http:Web アクセス認証(SSL CL 認証等)	
	公的個人認証局運用規程対応	
	証明書インポート	
	バックアップ・リストア(手動・自動)	
監査ログの保護(暗号化・署名)		
証明書発行・更新	X.509(Ver.3)形式証明書	
	PKCS#10 証明書要求	
	WebAPI	新機能
	CSV 一括発行	
	証明書プロファイルのカスタマイズ	
失効管理	失効リストデータ形式(PEM,DER)	
	全体 CRL	
	区分 CRL	
	CRL 手動更新	
	失効後の CRL 即時更新	
	失効情報公開:LDAP	
	失効情報公開:HTTP	
	一時失効・復旧	
	WebAPI	新機能
証明書配布(UA)	USB トークン/IC カード	
	PKCS#12	
	WebAPI	新機能
システム構成	HSM サポート	
	インタフェースカスタマイズ	
	ログ出力(Syslog)	
暗号関連	RSA1024~4092bit	
	ECC	
	SHA-2	
証明書格納先	USB トークン/IC カード	

本製品は外国為替および外国貿易法で規制される貨物・技術に該当します。本製品を輸出(日本国外への持ち出しおよび非居住者へ技術を提供する場合を含む)する場合は、同法にしたがい日本政府の輸出許可または役務取引許可が必要です。

以上